

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

国の補助事業等の採択要件に飼養衛生管理基準の遵守が加わりました

- 補助事業・交付金・制度資金の一部において、申請の際に「飼養衛生管理基準遵守状況確認書（以下、確認書）」の提出が必要です。
- 確認書の提出が必要な家畜は、豚及び鶏です。（いのしし、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥を含む）
牛及び馬は当面の間は確認書の提出は必要ありません。（水牛、めん羊、山羊を含む）
- 確認書は家畜保健衛生所が発行します。確認書が必要な場合は最寄りの家畜保健衛生所にご相談ください。

＜遵守を要件とする補助事業・交付金・制度資金＞（令和4年度）

●補助事業

- ・畜産クラスター事業（施設整備事業、機械導入事業、経営継承事業）
- ・新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業
- ・特定地域経営支援対策事業
 - ・経営継承・発展等支援事業
- ・農業信用保証保険基盤強化事業
 - ・農業経営継承保証保険支援事業

●交付金

- ・消費・安全対策交付金（ハード事業）
 - ・農地利用効率化等支援交付金
- ・強い農業づくり総合支援交付金（家畜飼養管理施設、家畜改良増殖関連施設）

●制度資金（主なもの）

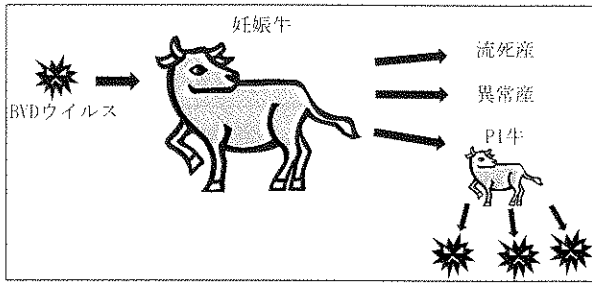
畜産経営体質強化支援資金／家畜疾病経営維持資金／畜産特別資金／農業経営改善促進資金／農業経営負担軽減支援資金／農業近代化資金／公庫資金（畜産経営環境調和推進資金、農業経営基盤強化資金、農林漁業セーフティネット資金等）

疾病情報

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況(近県)

疾 病 名	畜 種	発 生 場 所	発 生 時 期	発 生 戸 数	発 生 頭 羽 数
ヨ ー ネ 病 (法 定)	牛	鳥 取 県	R4.4月	1	2
牛伝染性リンパ腫(届出) (旧：牛白血病)	牛	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県 島根県、山口県、愛媛県、徳島県 高知県、香川県	R4.2月～R4.月	79	102
山羊関節炎・脳脊髄炎(届出)	山羊	兵庫県	R4.2月	1	1
レプトスピラ症(届出)	豚	徳島県	R4.2月	2	2
豚 丹 毒(届 出)	豚	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県 島根県、徳島県、高知県、香川県	R4.2月～R4.4月	18	41
豚繁殖・呼吸障害症候群(届出)	豚	香川県	R4.2月	1	3
サルモネラ症(届出)	豚	愛媛県	R4.3月	1	3
鶏 痘(届 出)	鶏	島根県	R4.3月	1	3
鶏伝染性気管支炎(届出)	鶏	香川県	R4.3月	1	1
鶏伝染性喉頭気管炎(届出)	鶏	広島県	R4.3月	1	9
アカリンダニ症(届出)	蜜蜂	広島県、山口県、愛媛県	R4.3月～R4.4月	6	6

牛ウイルス性下痢(BVD)のPI牛とは？



BVDはウイルス感染により下痢や呼吸器症状、乳量の低下、流死産等の異常産を引き起こす伝染病です。妊娠牛が感染すると妊娠日齢により、流産や死産が起こります。正常に出産した場合でも、BVDウイルスに反応を示さない（免疫寛容）状態の持続感染牛（PI牛）と

呼ばれる子牛が産まれることがあります。PI牛は一見、正常に見えますが、ウイルスを体内に持ち続けている（共存）しているため生涯にわたり糞尿や鼻汁から大量のウイルスを排出し、牛群を汚染し続けるとともに、新たなPI牛発生の原因となります。

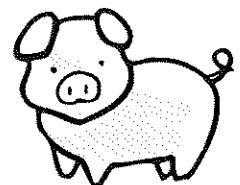
一度PI牛になるとその治療法はありません。母牛へのワクチン接種による予防と、汚染源であるPI牛の早期発見と淘汰が不可欠です。

PI牛を摘発するには検査が必要です。異常産、下痢等が続いたり、導入時の検査を希望する場合には、最寄りの家畜保健衛生所にご相談ください。

豚熱発生農場の疫学調査概要 飼養衛生管理基準の遵守状況について

国内における豚熱の発生は、今年度に入って3県（茨城県、群馬県、栃木県）6事例確認されています（令和4年7月23日現在）。

農林水産省のホームページには、各発生農場の疫学調査チームによる現地調査報告概要が掲載されており、発生農場の飼養衛生管理基準遵守状況について以下のような報告がされています。詳細については、下記QRコードから御確認ください。



- ・各豚舎に立ち入る際に、長靴の履き替えはしていたが、衣服の更衣はしていなかった。舎内専用長靴の洗浄消毒がされておらず糞便等の固着が確認された。
- ・豚舎の一部で金網やカーテンの破損が確認された。豚舎壁に破損や隙間が確認された。破損した屋根から雨水が豚舎内に流れ込むのを確認した。
- ・豚舎内で、ネズミの生体や死体を確認した。
衛生管理区域内でネズミや猫の姿が確認された。
- ・堆肥舎は防鳥ネットで覆われていたが、穴やめくれが多く、スズメ、カラス等の野鳥が自由に出入りしていた。



「国内における豚熱の発生状況について」

[https://www.maff.go.jp/j/](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/domestic.html)

[syouan/douei/csf/domestic.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/domestic.html)

農場における飼養衛生管理基準遵守状況の点検と、不遵守項目の改善をよろしく願います。また、飼育する豚に異状が見られた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所まで御連絡ください。

夏の間には飼養衛生管理基準の遵守状況の見直しを！ (鳥インフルエンザシーズンはすぐにやってくる)

令和3年度の国内での高病原性鳥インフルエンザ発生状況は、前年度（令和2年度）と比較すると少ないものの、30農場1施設での発生、約189万羽の殺処分となり、養鶏業界に大きな被害をもたらしました。幸いにも本県での発生はありませんでしたが、近隣県（愛媛、広島、兵庫）での発生があり、県内での発生リスクは非常に高い状況にあったと考えられます。今年度も県内の養鶏場での高病原性鳥インフルエンザ発生を防ぐためには、飼養衛生管理基準の遵守が重要です。



養鶏場の皆様には、飼養衛生管理基準の遵守状況を再確認し、守れていない項目については、渡り鳥が海外から高病原性鳥インフルエンザウイルスを運んでくる10月までに、必ず改善するようお願いいたします。ウイルスはちょっとした隙をついて、養鶏場に侵入します。万全の態勢で鳥インフルエンザシーズンを迎えるとともに、シーズン中には遵守状況を定期的に確認し、嚴重なウイルス侵入防止態勢を維持してください。

また、残念ながら、ウイルスを運んでくる渡り鳥は止めることができません。養鶏場近くのため池などの水場に渡り鳥等が飛来すると、その養鶏場の発生リスクが高くなります。そのため、池の水を抜く、テグスを張るなどの対策で渡り鳥の飛来を防止し、発生リスクを低減させることも効果的です。ため池の対策には、関係者の協力が必要です。協議には時間がかかる場合もあるため、今の時期から対策を始めましょう。

県内野生動物のズーノーシス実態調査

人獣共通感染症（ズーノーシス）は、人以外の動物にも感染する病気のことで、病原性大腸菌O157やE型肝炎などがよく知られています。今回、2016年～2021年度に捕獲した県内野生動物（鹿65頭、猪116頭）についてズーノーシスの病原体の保有調査をしました。

シカでは、E型肝炎、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が各1件体ずつ検出されました。

イノシシでは、サルモネラ、トキソプラズマ、E型肝炎、SFTS、豚丹毒が検出されました。豚丹毒は全てのイノシシから抗体が検出されました。サルモネラは県中央部で多く、島でも検出されました。トキソプラズマとSFTSは県内全域で検出されましたが、E型肝炎は県中央～南西部に集中していました（図1）。

野生動物はズーノーシスの病原体を保有していて、特にイノシシは多くの種類の病原体を持つこと、病原体の検出状況に地域差があることが明らかになりました。ズーノーシスの病原体は家畜に感染するものが多いため、野生動物の侵入防止等の飼養衛生管理基準を遵守することが大切となります。

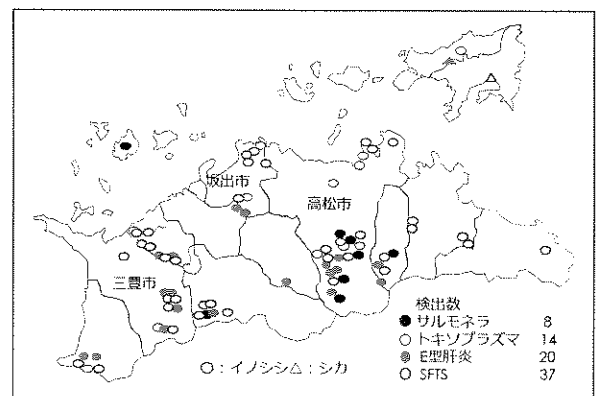


図1 ズーノーシス検出分布

新人だより

はじめまして。令和4年4月より畜産課総務・経営グループに配属になりました畜産職の久米川大知(くめがわたいち)と申します。生まれと育ちはさぬき市で、徳島の大学を卒業しました。徳島では、迫力ある阿波踊りを楽しんだり、山登りや川遊びなど自然を満喫したりしました。趣味は弓道です。高校から弓を引き始め、大学進学を機に一度は辞めたものの、最近再開しました。シンプルでありながら奥の深いところが弓道の魅力です。

温暖な気候や美味しい食べ物など、香川県にはたくさんの魅力があり、地元香川県で働けることを嬉しく思います。入庁から約4か月が経ち先輩方からサポートを受け、少しずつではありますが仕事にも慣れることが出来てきました。

未熟者ではありますが、1日でも早く仕事を覚え、香川県の畜産の発展に貢献できるように精進して参ります。これからよろしくお願ひします。



<お知らせ>

第12回全国和牛能力共進会の香川県代表牛決まる

令和4年10月6日から鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会の香川県代表牛が次のとおり決まりました。最終審査まで、出品者をはじめ関係者一同一丸となり、上位入賞を目指します。

出品区	出品者	名号	生年月日	血統	
種牛の部 第3区 (若雌の2)	塩田 薫 (善通寺市)	ちゃれんじ	R3.2.11	父	福 増
				2代祖	茂 洋
				3代祖	百合茂
肉牛の部 第8区 (去勢肥育牛)	間島 真司 (さぬき市)	舞向日葵 4700	R2.10.19	父	舞菊福
				2代祖	勝早桜
	安藤 勝賛 (三豊市)	向日葵 4698	R2.10.18	父	福之姫
				2代祖	安福久
				3代祖	勝忠平

・令和4年度第86回香川県畜産共進会の開催日程について

乳用牛・肉用種牛：11月9日(水)、10日(木)

場所：香川県家畜市場

肉豚：10月28日(金)、29日(土)

場所：株式会社香川県畜産公社

肉牛：11月30日(水)、12月2日(金)…審査、表彰

場所：坂出食肉地方卸売市場